

友だちへのサポート

友だちがデートDVをしていたら

暴力を認めない。

「暴力はいけない」とはっきり伝えよう。

暴力に代わるほかの方法がないかを一緒に考えよう。



友だちがデートDVにあっていたら

批判しないで、しっかり話を聴き、

「あなたが悪いんじゃない」とはっきり伝えよう。

悪気がなくても言っではいけないNGワード

「愛されている証拠」「よくある話」

「あなたにも悪いところがあるんじゃないの？」

信頼できる大人や地域の専門機関※に相談を勧めよう。

※裏表紙参照

